

## スマートフォンから使える水稲生育予測システム

～実用化に向けて現地実証を実施中～

千葉県農林総合研究センター 令和3年7月28日発

水稲栽培において、病害虫の防除や追肥・収穫などを適期に実施するため、各ほ場の出穂期を把握することはとても重要です。しかし、近年の生産現場では温暖化に伴う気候変動や規模拡大に伴う移植期間の拡大により、各ほ場の出穂期が予測しづらくなっています。

農林総合研究センターでは、農業者総合支援センターの協力の元、スマートフォンに水稲の品種と移植日を入力するだけで、最新のアメダスデータから出穂期を予測し、生育後半の管理作業適期を確認できるシステム「でるた™」を作成しました。今年度は県内の16経営体をモニターとして、関係機関と協力して現地実証に取り組んでいます。

現地実証試験により生育予測の精度や使用方法を検証し、モニターの意見も伺いながら手軽で使いやすい予測システムとして改良し、実用化・普及を図っていきます。

水稲生育予測システム  
「でるた™（試行）」  
（山武、アメダス横芝光）  
でるた™（試行）運用ポリシー  
ご利用の前にご確認ください

品種を選択： 粒すけ

移植日を選択： 4/20 (水)

\*\*\*\*\*

「粒すけ」4/20移植の生育予測  
(6/29までの気象データより)

幼穂形成期 : 6/21  
出穂期 : 7/16

水稲生育予測システムの画面



県内各地で出穂期を実測して予測精度を確認